

先人の座右の銘

孤独であって、
充実している、
そういうのが人間だ。
岡本太郎

十人十色

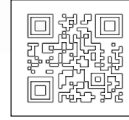
2025/4/19発行 41号

十仁・ベルジュバンス、
ヘアダイ、ストレートのヘア&フェイスサロン

美容室ベル

TEL 077-524-0674

〒520-0056 大津市末広町 8 - 13
http://www.bell-o2.com



行ってきました

丸子船が活躍した水運の郷

永原へ丸子船を見に、

いつものように観光案内所へ、なんと無人駅らしい誰もいません。タクシー呼び出し電話があるのみです。電話をかけて遠い所に居るので30分から40分待つて欲しいとのこと、待つことにする。丸子船が展示されているのは、道の駅・塩津街道あぢかまの里と北炎海、丸子船の館なのでこの2カ所を回ってもらう事に。自転車レンタルがあるので、自転車に乗れる人は是非自転車で歴史の町を回って見て欲しいですね。わたしは膝の手術をしてから、ペダルが漕げなく成りました。思ったより早くタクシーが来てくれました。

先ず道の駅へ

丸子船は琵琶湖特有の和船で、丸太を2つに割って側面に取り付けているため、外からみると丸太が張り出して見えることから、「丸子船」と呼ばれました。江戸初期から、戦前まで湖上水運の主役として活躍しており、最盛期には、約千四百隻が琵琶湖を往来していました。現存する丸子船は、2隻。これから行く道の駅は野外に展示されている。なんと大きな船!! 百石船「米俵250俵を積載可能」で、全長17メートルとの事です。触る事もできます。



丸子船の館 1階は丸子船展示

丸子船の実物と乗組員の人形が展示して有り、当時の様子をわかりやすく紹介しています。また関連備品から、当時の人々の暮らしを見る事ができる。

湖西線とは?

湖西線は1974年に開業、丁度50年に成ります。京都山科から始まって滋賀県の大津京～近江塩津までを結び、全21駅、全長74.1キロ、JR西日本の路線。山裾のやや高台を走るため、その車窓からは雄大なびわ湖や比良山系の山並みを望むことができる。本来、高速線用の路線として作られたため、トンネルや高架を多用しており、珍しい踏切ゼロの路線という特徴もあるそうです。今回 京都から永原まで、行って来ました。右手にびわこ、左に比良山系と、桜も美しく残り、本当に楽しい、ミニ旅でした。

2階ギャラリー

吹き抜けスペースより丸子船を真上から眺める事ができる。ジオラマコーナーがあり、丸子船がこの館に展示されるまでの記録ビデオが放映されている。

琵琶湖にはぐくまれた



【デジモノ講座】 40.スマートリモコンで実家のエアコン温度管理

3年前に母が鬼籍に入ってからというもの、今年84歳になる父は実家で一人暮らしをしている。身の回りの事はヘルパーさんが毎日来てくださり大変助かっている。

昨夏のはじめ、ヘルパーさんから連絡があり「窓も閉め切って34にもなる部屋で過ごされているので対策が必要」と言われる。エアコンのリモコン操作も難しいようで、間違えて暖房にしたり、冷房でも切ってしまったりと、これは自動化するしかないと思立つ。

そこで実家にスマートリモコン「smalia」という製品を設置した。これは赤外線リモコンで操作する各種家電(テレビや照明やエアコン諸々)が、自分のスマホの専用アプリで操作が出来るようになる優れものだ。インターネット回線とWiFiが設置されている事が前提になる。スマートリモコン本体には温度・湿度・照度センサーが内蔵されていて様々な条件設定が出来る。今回の場合、実家の居間の室温が30以上になったらエアコンを冷房28でつける、24:30になったらエアコンを消す、という設定を私のスマホで行い、その通りに自動で動くようになった。冬になれば冷房から暖房への切り替えを私のスマホで設定できるので実家まで出向かずに済むのだ。

これにより父がエアコンをつける気が無くても、誤操作をしても、室温設定に従ってスマートリモコンが正しい操作を行ってくれ、快適な室温を保てる事ができるようになった。その後8月に入り毎日のように酷暑が続いたので、スマートリモコンを導入しておいて良かったと胸をなで下ろしている。先の冬は父が朝起きる時間より早く居間の暖房を入れ部屋を暖めた。見守り的な用途以外にも自分自身の生活が楽になるための様々な使い方があるので、興味のある方はウェブサイトをのぞいてみて欲しい。



編集後記、
電車でピワコー一周の東回り始まり、今回は琵琶湖線の最北端の永原です。何時もの様に観光案内所に、と思いましたが、なんと案内所も駅員さんも居ません。無人駅のようにです。今回からは湖西線で琵琶湖の西を回ります。

